

## 若者活動サポートセンターあおぞら 設立趣意書

安佐北区は、広島市内で一番面積が広く、最も高齢化率が高い地域です。

この地域で将来を見据えたまちづくりを考える時、高齢化が進む地域住民のみの協力体制でそれを実現することは困難です。私たちのまちづくりには、若い世代の力が必要です。私たちはそのことを十分に認識しています。そのため、これまでさまざまなプロジェクトや市民活動を展開してきました。けれども、残念ながら、これまでこの地域では、若い世代とともにまちづくりを進める体制が作られてきませんでした。

平成26年8月、この安佐北区に類をみない豪雨が襲来し、甚大な被害をもたらしました。この災害により、「高齢化」以外の「脆弱な地盤」「治水・治山の不備」など、さまざまな地域課題が露呈しました。しかし、その一方で、「地域力」「受援力」「歴史」「文化」などの地域の強みや誇りがその力を発揮しました。その結果、今、復興の道半ばで安全とは言い難い状況であるにもかかわらず、私たちは、この安佐北区に住み続けたいと考えています。それは、安佐北区が好きだからです。災害で再確認した強みと誇り＝人と人とのつながりが見え、緑と水が豊かで歴史のある“安佐北区がやっぱり好きだ”ということに、私たち自身が改めて気づいたからです。そして、今、この想いは、豪雨災害の復興支援活動に参加したたくさんの若者たちに伝播しています。すでに、一部の若者たちが“安佐北区が好きだから”と、自主的に新たな復興支援活動を展開しています。

災害により故郷は姿を変えました。私たちの心の傷は未だに癒えません。

けれども、このピンチをチャンスに変える底力＝“好き”の想いが、ここ安佐北区にはあります。災害に立ち向かい、支え合った経験があります。

今、この底力と経験を若者たち伝え、ともに、日常のとなりにある災害に備え、助けあい、支え合う“復興という名のまちづくり”に取り組めば、これまでどこにもなかった新しい安佐北区が実現できます。そして、安佐北区で学び育った若者たちが、やがて地域の枠を越えて活動の幅を広げ、さまざまなフィールドで地域課題に果敢に挑戦する人財として全国で活躍していくはずです。この若者たちが地域に学び、地域の人とともに歩みながら育ち、地域とともに生きる人となる取り組みは、まちづくりの新しいモデルになります。私たちはモデルとなることを目指しています。

そのために、私たち発起人一同は、若い世代が地域の多くの人たちとともに、災害に強く、暮らし続けられるまちについて語り合い、学び合う、創り出す“場”を設けます。

2015年4月2日